

公益社団法人愛知県医師会 第33回(定例)理事会議事録

開催日時：平成27年1月29日(木) 午後2時30分～午後4時20分

開催場所：愛知県医師会館4階理事会議室

出席者

会長(代表理事)／柵木 充 明

副会長(代表理事)／山本 楯 伊藤 宣 夫 横井 隆

理事／市川 朝 洋 伊藤 健 一 城 義 政 加藤 雅 通 大輪 芳 裕

西山 朗 櫻尾 富 二 樋口 俊 寛 伊藤 富 士 子 瀨 瀨 雅 明

細川 秀 一 森 孝 生 城 卓 志 野田 正 治

監事／岩瀬 敬 紀 可世木 成 明 榊原 一 基

代議員会議長／水野 和 夫

代議員会副議長／川上 雅 正 杉田 洋 一

欠席者 理事／吉田 貴

議事録作成者 横地 宏 和

森理事遅刻のため、承認事項1～協議事項6については、23名(うち理事17名)で審議した。

議長は、定款第39条第2項により、柵木充明会長(代表理事)が務める。

本日の理事会は、出席者24名(うち理事18名)で、理事現在数19名の2分の1以上(10名)の出席があり、定款第39条第6項の決議を行うに必要な過半数に達していることを確認した。

議 事

一承認事項一

1. 庶務関係事項について

(1) 後援並びに共催について

①名古屋骨を守る会(事務局長 鈴木敦詞：藤田保健衛生大学内分泌代謝内科准教授)主催の第24回名古屋骨を守る会講演会〔3/28(土)〕の後援について

②朝日新聞社主催の2015年世界腎臓デー第5回「腎臓病啓発セミナー」〔3/14(土)〕の後援について

③特定非営利活動法人 共生会(代表 墨鉦平)の行う不登校・ひきこもり家族支援フォーラム〔5/23(土)〕の後援について

市川理事より、1-(1)-①～③について一括承認を求め、承認された。

- (2) 第 59 回日本リウマチ学会総会・学術集会(会長 山本一彦：東京大学大学院医学系研究科内科学専攻アレルギーリウマチ学教授)主催の第 59 回日本リウマチ学会総会・学術集会「市民公開講座」〔4/26(日)〕の後援について
市川理事より説明され、承認された。

2. 委員会・部会、講演会等(本会主催分)の開催について

柵木会長より、以下の No. 1~4 の本会主催の委員会・部会、講演会等の開催について一括承認を求め、承認された。

No.	開催日	名称	開催場所	担当理事
1	2/20(金)	精度管理研修会	9階大講堂	樫尾理事 加藤理事
2	2/21(土)	平成26年度第4回小児救急連携体制協議会	7階研修室	城(義)理事 細川理事
3	3/16(月)	生涯教育委員会	801会議室	森理事 城(義)理事
4	3/25(水) 3/27(金) 3/30(月)	日本医師会認定健康スポーツ医学再研修会	9階大講堂 9階大講堂 地下1階健康教育講堂	森理事 城(義)理事

3. 母体保護法指定医師講習会広域化(愛知県・岐阜県・三重県)に関する施行規約について

伊藤(富)理事より説明され、標記施行規約が承認された。

4. 「現代医学」誌63巻2号(平成27年12月発行)の提案項目について

城(卓)理事より説明され、承認された。

—協議事項—

5. 平成27年度予算(案)について

西山理事より、第32回(定例)理事会へ提出した平成27年度予算(案)からの修正箇所及び公益法人会計基準を満たしている旨説明され、承認された。また、併せて3月14日(土)に開催される第173回(臨時)代議員会にて報告することが承認された。

細川理事より、医師会館の建て替えについて質問され、柵木会長より、建設資金の積み立ては徐々に行っているが、じっくりと議論して検討をしていく予定であると回答された。

水野議長より、地震保険には加入しているのか質問され、柵木会長より、検討すると回答された。

6. 平成 27 年度会費の賦課徴収、会費減免申請及び入会金の賦課徴収について

西山理事より、平成 27 年度会費の賦課徴収、会費減免申請及び入会金の賦課徴収について説明があり、資料の内容で第 173 回(臨時)代議員会に上程することが承認された。

柵木会長より、高齢会員の会費減免について、後継者が同一医院にて実質の診療をしている場合は、後継者の医師が A 会員になっていただくようお願いしていると発言され、樫尾理事より、名古屋市医師会は、そういった場合は実態を調査しているので、他地区においても参考として頂きたいと発言され、柵木会長より、県下医師会長等協議会にて依頼することになると発言された。

7. その他

—報告事項—

【日本医師会、各医師会、中部医師会連合等会議について】

1. 平成 26 年度第 2 回救急災害医療対策委員会〔1/23(金)〕について

(日本医師会主催：日本医師会館)

城(義)理事より、日本医師会 ACLS(二次救命処置)研修の状況は、愛知県は計 1,566 名に修了証が交付されている。南海トラフ大地震を想定した衛星利用実証実験(防災訓練)が平成 26 年 12 月 10 日に実施され、概ね良好に行われた。東京都医師会が行ったアンケートでは、平成 24 年 10 月 1 日から 10 月 7 日までの救急入院患者の年齢分布は高齢になるほど増加し、また、半分の方は徒歩で受診しており、自宅からが 69%であったと報告された。

2. 公衆衛生委員会〔1/23(金)〕について

(日本医師会：日本医師会館談話室)

瀨瀨理事より、政府の健康ナビステーションに対し、諮問「地域の健康拠点のあり方～保健所の役割と地域医師会との連携について」検討されたが、医師会では疾患のある人が中心であり、健康ナビステーションでは疾患の無い健康な人を中心に考えており、それに対し保健所側では各地域によって対応にバラつきがあり過ぎるため意見がまとまらなかったと報告された。

柵木会長より、「医療機関におけるコンタクトレンズ等の医療機器やサプリメント等の食品の販売について」閣議決定はしているが、指針等が出ていないと発言され、瀨瀨理事より、保健所長に権限があり、地域によって対応が違うらしいと発言され、柵木会長より、行政裁量より全体として動かないと機能しないと発言された。

市川理事より、健康ナビステーションの厚生労働省の担当部局について質問され、大輪理事より、現在の担当部局は、健康局のがん対策・健康増進課であるが、本年 4 月より健康局の組織改編により健康課が担当することになると発言された。

【本会関係会議について】

3. 勤務医部会幹事会〔1/21(水)〕について

(801・802 会議室)

伊藤(健)理事より、日医第 1 回病院委員会の報告として、地域医療ビジョンの話をしたと報告された。

4. 平成 26 年度愛知県難病医療連絡協議会・連絡会(合同会議)〔12/18(木)〕について

(愛知県難病医療連絡協議会主催：愛知県自治センター)

加藤理事より、愛知県難病医療ネットワークの活動報告(各ブロックの活動状況等)が行われ、来年度の事業予定について検討された。また、愛知県健康対策課担当者より、難病新法に基づく難病対策の具体的な内容について説明があり、医療費助成制度を始め、難病指定医・指定医療機関の申請状況に関する報告が行われたと報告された。

5. 調査室委員会〔1/20(火)〕について

(5階医師連盟会議室)

大輪理事より、マイナンバーカード、平成27年度税制改正の概要、今後の調査室委員会で取り上げるテーマ、国民医療を守るための総決起大会について報告したと報告された。

6. 第5回産業保健部会幹事会〔1/23(金)〕について

(5階医師連盟会議室)

西山理事より、平成27年度嘱託産業医報酬基準(案)について協議、決定がされ、報告では日医産業保健委員会の報告を行った。また、産業医資格がない医師の産業医活動について議論したと報告された。

7. 第2回精度管理委員会〔1/26(月)〕について

(804会議室)

樫尾理事より、愛知県臨床検査標準化協議会、今年度実施した精度管理調査について、各分野の担当委員より報告され、また、2月20日(金)に開催予定である研修会の内容について検討を行ったと報告された。

8. 「現代医学」誌編集委員会〔1/22(木)〕について

(501会議室)

城(卓)理事より、63巻2号(平成27年12月掲載)へのテーマ、執筆依頼者について協議を行った。また、委員長が本年度で辞任されるため、後任を選任する予定であると報告された。

9. GOOD LIFE PROJECT(在宅医療に関するプロジェクト)〔1/26(月)〕について

(801会議室)

野田理事より、各委員より地区の在宅医療ネットワークの取り組みについて報告があった。また、県下医師会や市町村を対象とした事業報告会を3月7日(土)に開催することになり、発表者や全体の内容について協議したと報告された。

10. 講演会・研修会等について

柵木会長より、下記のNo.1~2の本会主催の講習会・研修会等は一括報告とすると発言された。

城(義)理事より、No.1については愛知県からの委託事業にて本年度より3回開催しており、幼児の蘇生の実習も1回開催している。こういった啓発は全国的にもないので日医で報告することになっていると発言された。

柵木会長より、愛知県の小児3次救急の整備状況について質問され、伊藤(健)理事より、愛知県地域保健医療計画の該当箇所について説明された。

*は共催・協賛等

No.	開催日	名称	出席者数等	担当理事
1	*1/22(木)	小児救急に関する研修会	151名	城(義)理事 細川理事
2	1/26(月)	産業医研修会	27名	西山理事 市川理事

【行政、その他関係団体等会議について】

- 1 1. 平成 26 年度第 2 回愛知県救急業務高度化推進協議会正副会長会〔1/26(月)〕について

(愛知県主催：愛知県議会議事堂)

柵木会長より、平成 27 年度救急業務高度化推進関係事業スケジュール、救急救命士の処置範囲の拡大、救急救命士の再教育に関するガイドラインについて協議されたと報告され、また、平成 26 年度救急救命士措置範囲拡大事業実績について資料に基づき説明された。

- 1 2. 第4回名古屋陽子線治療センター運営会議〔1/28(水)〕について

(名古屋市立西部医療センター主催：名鉄グランドホテル)

柵木会長より、会議ではプロトコルの説明があったと報告され、資料に基づき名古屋陽子線治療センターの実績、先進医療の医療費について説明をされた。

- 1 3. 愛知県社会福祉審議会身体障害者福祉専門分科会審査部会〔1/21(水)〕について

(愛知県社会福祉審議会主催：愛知県三の丸庁舎)

伊藤副会長より、議題に沿って審議され、また、その他事項にて、異議申し立てが 5 件あり、その内容について説明された。

- 1 4. 特定非営利活動法人健康情報処理センターあいち 平成26年度第9回運営委員会〔1/14(水)〕について

(特定非営利活動法人健康情報処理センターあいち主催：

特定非営利活動法人健康情報処理センターあいち事務所)

城(義)理事より、平成 26 年度インフルエンザワクチン接種状況、倫理審査委員会の報告の中で、新しい委員の承認は、倫理審査委員会で決定されていたが、今後、委員の承認は、理事会の決定事項とすることとした、新健保設立に関して、総会を開催したいという話がなされたと報告された。

柵木会長より、総会の日について質問され、城(義)理事より、未定であると回答された。

加藤理事より、新健保設立と本会の関わりについて質問され、城(義)理事より、本会に関わらないと回答され、柵木会長より、本件については別途議論する必要があると発言された。

15. 平成26年度第5回愛知県救急業務高度化推進協議会作業部会〔1/19(月)〕について

(愛知県救急業務高度化推進協議会主催：三の丸庁舎)

城(義)理事より、平成27年度のスケジュールでは、今年度と同じく430名が受講予定である。平成26年度の救急救命士処置拡大では、尾張東部地区と知多地区にて血糖測定それぞれ25例、43例、ブドウ糖投与がそれぞれ6例、4例に実施された。中心静脈ルートからのアドレナリンの投与は、実施しないことが確認されたと報告された。

16. 平成26年度愛知県母子保健運営協議会〔1/23(金)〕について

(愛知県主催：愛知県三の丸庁舎)

伊藤(富)理事より、母子保健の現状報告及び3つの専門委員会の平成26年度開催結果について、各委員長から発表があった。続いて平成26年度母子保健重点目標の説明があり、これに基づく母子保健計画(案)が承認されたと報告された。

17. 愛知県広域予防接種事業ワーキング会議〔1/26(月)〕について

(愛知県主催：5階医師連盟会議室)

纈纈理事より、B類疾病の広域化について検討を行った。平成27年10月のスタートを目標に、今後は市町村の意向調査、実態の把握(自己負担額、委託金額)、課題の抽出を行い、契約書や運営要領等を検討していくことになったと報告された。

柵木会長より、B類疾病広域化の平成27年10月開始について質問され、纈纈理事より、10月開始に向けて準備をしていると回答され、伊藤副会長より、10月開始は現状ではぎりぎりのスケジュールであるが、市町村担当者に集まって頂けるよう依頼をしていると発言された。

【その他事項について】

18. 在宅医療サポートセンター事業の平成27年度への取り組み状況について
(中間報告)

伊藤(健)理事より、現在の進捗状況について説明された。

森理事より、がん患者の在宅医療について質問され、伊藤(健)理事より、がん患者に特定した形ではなく、高齢者への対応という形で行うと回答された。

19. その他

以上で本日の議事を終了し、議長は協力を謝して閉会とした。

平成27年1月29日